

此の報に接し、各支部役員、各友誼団体及、親同年護士は直ちに
駆けつけ、此の暴行を目のあたりに見せ付け、此の傍連は直ちに自
己国を組織し、一会社、官憲、暴力団に對し徹底的に戦ひ、握
内上小隊、野郎共を監獄にガチ込ませ、此の水は飲めしな
いと意を盡き、卷のて花の福を傍連は直ちに自強団組織し
て、決まていかにか闘
△起つて、則ち會社側、最後の擧げに
△護り、傍連乃同志會を
一九二二 一一、一一

實用自動車同志會爭議團本部

(別記) 三社 爭議團負諸君

十一 時夕刻、爭議團本部を襲つた暴漢は、爭議、ために寢食を忘れ、戦つてゐた兄
弟二名を斬つて逃走した。命を抛げ出して、傷つてゐた兄弟二人は血にまみれ、大
汗を今も顔死の状態大臥して居るのだ。

三社 爭議團負諸君

べう橋を、社費の値下は全自動車従業員要求だ。之を承認しない奴に對して、爭議
を以て、戦ひ事に全く正しい。諸君は全自動車従業員の先頭に立つて、今戦つてゐ
るのだ。諸君の勝利は全従業員勝利だ。全従業員は諸君の勇敢な行動を見
て、今も身を投じて、諸君と共に戦はんとして居る。

三社 爭議團負諸君

この氣勢に恐れ、水と資本家が暴漢を使つて、爭議團本部を襲ひ、必死の戦ひだ。
之こそ、諸君の力か如何に資本家にとつて、怖ろしいものなぞか、生物誤つてゐるもの
だ。同じく、この資本家の態度こそ、斬られ、兄弟の可なり、敵やなく、全自動車従業員に對
する、敵行行動だ。

三社 爭議團負諸君

我労働農民黨は資本家のこの殺人、侵襲を徹底的に糾弾せんことを誓ふ。

三社 爭議團負諸君

所が、官憲の態度は、どうぞ、犯人捜査とか、いふ声か、何んから、彼ら、是等、たか、合衆の主人に